

2023年度 学校評価報告書

1. 第IV期中期経営戦略における本園のビジョン

○園児一人ひとりの成長を確かな形で保護者が実感することができる、園児の主体性を伸ばす教育保育を実践するこども園

2. 第IV期中期経営戦略の中期計画に係る 2023年度の成果

1) 園児の主体性を育む教育保育の展開

園児の主体性を育む教育保育を展開するために、本園では保育環境の整備・充実およびカリキュラムの改編に取り組んでいる。

保育環境の整備・充実については、今年度から念願であった園庭の大規模リニューアルに着手した。教職員で何度も議論を重ねて考案したプランに基づき、第1期分として、複数の築山、大型木製遊具、多様な植栽のエリアを設けた。また、各保育室においては、それぞれのクラスの園児の興味や関心に沿ったコーナー保育を展開したり、研修で得られた知識に基づき新たな玩具の導入を行ったりすることができた。

カリキュラム改編については、今年度からの新たな取り組みとして、その日一日のすごし方や遊びをすべて園児が主体的に決める「フォーチャンデー」を始めた。また、日常保育および行事のいずれにおいても、園児たちの思いや意見を尊重し採り入れる機会をこれまでよりも多く設け、一層の主体性の伸長を図った。

2) 積極的な情報発信の推進

在園児保護者に向けた施策として、日常のようすや行事、園児一人ひとりの育ちについて、アプリを用いての配信を行った。日常のようす、行事などを伝えるドキュメンテーションは月2回、個人別の育ちを伝えるポートフォリオは月1回コンスタントに配信し、動画コンテンツも入れるなど質的な向上も図ることができた。

未就園児保護者をターゲットとした施策として、園児募集にフォーカスした新ホームページへの刷新に着手した。あわせて、当該保護者層の利用が多いInstagramでの発信も引き続き行い、フォロー先を増やしたり、QRコードの配布を積極的に行ったりした。また、来園機会を創出するため、子育て支援企画について、低年齢児への開放や学院内連携事業の効果的な活用などを行った。さらに、次年度園児募集に向けての新規取り組み（コンセプトブック作成、新規バス停設置、入園説明会の個別化、ポスティングなど）の準備を行った。

3. 課題について

前述のとおり、2023年度に予定していた取り組みについては計画どおり実施でき、中期経営戦略は概ね順調に進捗している。しかしながら、園児募集に関しては、政府予測をはるかに上回る少子化の進行により、こども園を含む就学前施設を取り巻く環境が一層厳しさを増しているため、2024年度以降、追加施策を講じて未就園児保護者層への効果的な情報発信と来園機会の増大を図り、安定的な募集に努めることとする。

4. 安全管理の取り組み強化について

送迎バスの運用については、従前より複数の教職員のチェックによる置き去り防止策を講じてきたが、よ

り一層の安全を担保するために、すでに導入している IC タグを用いた登降園情報プッシュ通知送信サービスに加え、バスに取り付ける置き去り防止装置の設置を期首に完了した。

また、毎週 1 回、遊具の点検を実施し、不具合箇所の早期発見と修繕などの適切な処置を行い、安全な保育環境の維持に努めたほか、毎月 1 回、火災、地震、Jアラート、不審者侵入などを想定した避難訓練を実施し、実際の避難行動の定着と意識の醸成を図った。

5. 学校評価アンケート結果について

本園では毎年度保護者に対してアンケートを実施している。2023 年度の保護者満足度（保護者推薦度）は 94.7%と前年度に続き高水準を維持することができた。

また、個別の質問項目についても、24 項目すべてについて 95%以上の回答者から肯定的な高い評価をいただくことができた。

6. 学校関係者評価委員会からの意見について

学校関係者評価委員会からいただいた意見は以下のとおりである。なお、改善が必要な内容についてはすでに対応している。

- ①バスコース再編による通園エリアの変化はどのようなものか。
- ②園庭づくりイベントは保護者も参加でき子どもたちの良い思い出として残るので、今後も同様の機会があればうれしい。
- ③年間を通じてさまざまな行事などで子どもたちに体験の機会を設けていただいているが、多忙により先生方の余裕がなくなると万全の状態で保育に向き合えないことにもなるので、留意をお願いしたい。
- ④園庭リニューアルにより以前よりも良くなったと感じている。難易度に高低を付けることにより挑戦できたり、運動量そのものが増えたり、一定のルールに則ることにより規範意識が芽生えたりなどしている。今後の展開も楽しみにしている。
- ⑤クラスごとに子どもの興味や関心に応じたコーナー保育をされているが、他クラスとの交流が増えればより面白いのではと思う。
- ⑥3 年間楽しく通えたのが何より良かった。毎日幼稚園に行きたい、楽しいとずっと言っていた。
- ⑦子どもたちが話し合って 1 日のすごし方を決める「フォーちゃんデー」の取り組みを毎回楽しみにしており、良い経験にもなっている。
- ⑧ドキュメンテーションの配信により園での活動がよく分かり、家族みんなで楽しく見ている。
- ⑨インスタグラムでの配信は園の日常を知ることができ、未就園児保護者層が見ることも多いと思う。
- ⑩小学校教員による科学あそびなど併設校との交流は、ほかの幼稚園では経験できない貴重な機会となっている。

7. 総括

本園では、変化が激しく先行きが見通しにくいこれからの時代を、主体的に自信を持って生きていけるよう、就学前の子どもたちの育ちを援助している。2023 年度においても、日常保育やさまざまな行事（過程も含む）を通じて、子どもたちの興味や関心を広げ、子どもたちが自分の頭で考え、決めて、最後までやり遂げる機会を多く設け、自信や自己肯定感を育む教育保育に取り組むことができた。

また、幼児教育・保育のさらなる質的向上のため、園内でのワークショップ実施や園外研修への参加促進など、保育教諭のスキルアップを図った。また、保育教諭全員で「育ってほしい子どもの姿」、「保育目標」、「保育方針」について何度も議論を重ね、明確に言語化することができた。